

丸久小山園の沿革

丸久小山園は元禄年間 (1688 ~ 1704)、お茶に適した宇治小倉の里で園祖小山久次郎がお茶の栽培と製造を手がけたのが始まりです。以来、代々にわたり、宇治茶の伝統と品質の改善に努め、四代後にはお茶の販売も手がけるようになりました。その後、明治に入って八代目を継いだ元次郎が全国に販路を広げました。その「品質本位の茶づくり」は、栽培から製造まで一貫して行われ、数々の賞や栄誉をいただき、多くの人々に「品質の丸久小山園」と広く親しまれております。



丸久小山園のモットー

「品質本位の茶づくり」



丸久小山園の受賞歴

当園では毎年お茶づくりを競う全国茶品評会などに栽培から製造まで一貫してつくられた自園茶を品質向上のために出品し、幾度も第一位を受賞しております。

- ・全国茶品評会第一位 21回受賞
- ・関西茶品評会第一位 9回受賞
- ・全国茶審査技術競技大会 2回優勝

お茶の品質維持への取り組み

丸久小山園では品質向上と維持の為に絶えず努力し、下記のような取り組みをしています。

- ・ISO9001の取得
- ・JAS有機加工食品の認証取得
- ・当園独自の特許取得

